

令和5年度第3回函館方面寿都警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年2月7日(水) 午後1時55分から午後3時10分まで

2 開催場所

函館方面寿都警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 5人(定員5人)

会長 小田 章

副会長 岡部 裕子

委員 佐々木 昇一、久慈 和成、石澤 めぐみ

(2) 警察署員 6人

署長 古村 英範

副署長 後藤 良美

刑生課長 村田 憲昭

地交課長 斉藤 真也

警備課長 高橋 幸宗

警務係長

4 会長挨拶

これより第3回寿都警察署協議会を行いたいと思います。

令和6年のスタートとなる元日に能登半島の地震が発生しました。

南西沖地震よりも数多くの犠牲者が出たということで、心からお悔やみを申し上げる次第であります。

また、一ヶ月が過ぎた今も不自由な生活をされている被災者の方々にも、心からお見舞い申し上げます。

さて、令和6年も一ヶ月が過ぎましたが、道路状況はこれから路面が凍結したり溶けたりが繰り返されることで、滑りやすい危険な道路状況になってまいります。

寿都町、黒松内町、島牧村の2町1村では、絶対に大きな事故などが発生しないように一人一人が安全運転を心掛けていきたいと思っております。

また、新聞を見ますと、相変わらず投資詐欺が多く発生しており、被害金額の大きさに驚いているところであります。

甘い話、儲け話には十分気をつけていきたいと思っております。

以上で私の挨拶とさせていただきます。

5 署長挨拶

皆様、本日は大変お忙しい中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

先ほど、会長からもありましたとおり、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により甚大な被害を受け、今もなお行方不明者の捜索活動が続いており、北海道警察からも職員が派遣されているところであります。

また、翌日にはJALの航空機と海上保安庁の固定翼機による接触事故が発生しておりますが、客室乗務員の方々の臨機応変な避難誘導により、乗客乗員全員が救出されました。

これもひとえに日頃の訓練の成果であり、災害も同様ですが、日頃の備えが一番大切であると考えております。

本日は、警察署の活動状況と併せまして、災害に関することについてもご説明していきたいと考えております。

引き続き、委員の皆様からの御意見、御要望等をいただきまして警察活動に反映させ

ていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

6 協議会議事

(1) 令和5年下半期の寿都警察署の活動状況について

- ・警務課
犯罪被害者支援業務に関する活動
- ・刑事・生活安全課
非行防止教室、小学生社会見学、薬物乱用防止、暴力団排除啓発活動について
- ・地域・交通課
寿都神社例大祭警備、水難事故防止・交通事故防止啓発、島牧村交通死亡事故ゼロ7000日達成にかかる感謝状贈呈
- ・警備課
出入国管理及び難民認定法違反の検挙、行幸啓警衛警備の完遂、当署管内発生 of 雪害による多数の車両立ち往生事案の概要

(2) 諮問の答申

- ・タコの密漁について
タコにおける漁業権、漁業権のない者によるタコの採捕の罰則について説明した。

委員～タコの密漁について、最近事件として検挙したことはあるのか。

警察～検挙した事例はない。

- ・災害対策について
災害の脅威として、南西沖地震における当署管内での被害状況を説明し、南西沖地震において被災経験のある委員から体験談を述べてもらった。
当署管内の災害危険箇所24箇所の概要を説明した。
災害に備えての避難経路の確認、連絡手段の確保方法、非常持出品の準備について説明した。

(3) 次回諮問事項

次回開催日程調整時に再度確認

(4) 質疑応答・意見要望

災害への備えについて

委員～私も南西沖地震の被災体験があり、地震発生後、すぐに車で避難したが、すでに津波が近くまで迫っている状態であった。

台風などの災害はある程度の準備ができるが、地震はそうもいかない。

今回の協議会の説明で、日頃からの訓練や準備が大切だということがよくわかった。

(5) 次回開催予定

令和6年6月下旬から7月中旬

令和 年 月 日

印

令和 年 月 日

印